



## 「もっといいクルマ」 づくりに向けて

トヨタ自動車株式会社  
代表取締役副社長

加藤 光久

「もっといいクルマをつくらうよ」。

これは、社長の豊田が就任以来、言い続けてきた言葉です。

トヨタはどのような厳しい経営環境の中でも、「トヨタを選んでいただいたお客様に笑顔になっていただきたい」という思いのもと、お客様の期待を超える「いいクルマ」づくりに取り組んでまいりました。

### デザインをより個性的な方向へ

私は、「もっといいクルマ」をつくる上で、欠かせないと考えているのが、「デザイン」の改革です。

強さと意外性を併せ持つエモーショナルなデザインを目指し、今のトヨタの潮流を“デザインの力”で変えていきたいという強い思いです。

もちろん、「走行性能」や「使い勝手」、あるいは「先進技術」といった要素も重要であることは言うまでもありませんが、激しさを増すグローバル競争の中で生き残るためには、ひと目見て、お客様に何かを感じていただける「インパクト」が大切です。

そこには、「賛否両論があっても良い」、むしろ、「賛否両論がないことの方がおかしい」との思いから、トヨタのクルマを、デザインから変えていきたいと考えております。

まず、デザインのアイデンティティ強化を図る為にトヨタ、レクサス、それぞれのブランドの方向性の明確化を進めています。

以前のトヨタは、フルラインナップの車両を取り揃えた、いわば百貨店のような存在で、「ここへ来れば何でも買えるが、ここでしか買えないものは少ない」といった状態でした。

しかし、これではいけないと、今後はトヨタブランドを高級なものから安価なものまでを選りすぐった品揃えのセレクトショップと位置づけし、レクサスブランドは、



オーリス



GS450h

日本が発信する真のプレミアムブランドショップとして独自性のある商品を提供していきたいと考えています。そしてアイデンティティの強化として、トヨタブランドのデザインをより個性的な方向へシフトさせたいと考えております。

ただし、単に個性が強くてヘンだ。変わっている。というものを狙うのではなく、お客様の期待を超えて意外性を感じるレベルのデザインを提案し、ゆくゆくは、人の目に馴染み、定番になっていけるものを目指しています。

例えばクルマの顔にも注目し、より個性を求めます。従来から、統一性を出そうと進めて参りましたが、残念ながら個性が無かった為、類似とみられ、つまらないとネガティブな評価につながっていた面もあったかと思えます。

今年8月に発売したオーリスには“キーシルク”と名付けた特徴ある精悍な顔つきを与えました。

グローバルに販売される車両には、今後この個性的で魅力的なフロントフェイスで統一感を出し、トヨタブランドの認知度を高めたいと思えます。

なお、日本、北米、中国など、その地域独自に展開される専用車両には、各市場のニーズに合った個性的デザインも合わせて開発していきます。

また、レクサスブランドでは今年1月に発売したGSから一目でそれとわかる独自性を表す『スピンドルグリル』を採用しています。

## 「もっといいクルマ」を賢くつくるための新しい仕組み「TNGA」

もう一つの「もっといいクルマ」をつくるための取り組み、大幅な商品力向上と原価低減を同時に高いレベルで達成するための新しいクルマづくりの方針、それが「Toyota New Global Architecture」、略して「TNGA」です。

「走る、曲がる、止まる」といった基本性能を向上させ、その上で賢い共有化を進め、地域のお客様の嗜好を反映していきます。

新型プラットフォームは、設計とデザインが協力することにより、これまでにないエモーショナルなデザインと優れたハンドリングのクルマの開発が可能となります。

また、併せて複数車種の同時企画・開発を行う「グルーピング開発」を導入し、車種間の基本部品・ユニットの共有化率を高め、原価低減を進めることにより、開発工数やコストをお客様の嗜好や地域の特性にかかわる部分の開発に振り分けて差別化を図り、さらなる商品力の向上を目指します。

トヨタでは、様々な「いいクルマ」があると考えております。

- 単なる移動手段ではなく、「走る楽しさ」を感じるクルマ
- 使い勝手がよく、ご家族の移動や休日の娯楽などで活躍するクルマ
- 人や荷物を運ぶなど、商用として働くクルマ
- そして、先進技術を搭載し、画期的な低燃費などを追求したクルマ

などです。

いずれの場合でも、最終的に「いいクルマ」を決めていただけるのはお客様です。

トヨタはこれからも「いいクルマ」づくりを通して「いい町・いい社会」づくりに貢献し、持続的成長を実現できる企業を目指してまいります。

どうぞ、これからのトヨタに、ご期待ください。